

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

セラミックタイル張り 内装用有機系接着剤 UR-300T

UR-300Tはセラミックタイル施工用として開発された、1液湿気硬化形ウレタン樹脂系接着剤です。浴室など水掛かりのある屋内壁面へセラミックタイルを施工するのに適しています。また、既存タイル下地への施工も可能です。



ウレタン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量	包装形態	梱包単位
2kg	フィルムパック	9

用 途

適用箇所	屋内の壁面
適用下地	モルタル、コンクリート、ボード類、既存タイル面
適用仕上げ材	セラミックタイル、石材

※詳細な施工手順は施工要領書をご確認ください。

性 質

外 観	灰白色 マスチック状
主 成 分	ウレタン樹脂
張付け可能時間	23℃ 60分以内

標準使用量

5mm角のクシ目ゴテを使用した場合	2.3~2.7kg/m ²
	0.37~0.43m ² /kg
	0.7~0.9m ² /2kg

使用方法

【下地の確認】

- コンクリート、モルタル下地の場合
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手のものを使用し、目違いや目地隙のない下地とします。
- 既存タイル下地の場合
打音検査を行い浮いている箇所を確認、補修します。
チェック：塗装面・ガラス面・金属・FRPには施工しないで下さい。

【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で平滑にします。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

●既存タイル下地の場合

- 1.タイルの浮いている箇所はハツリ取り、下地を充分乾燥させた後、補修用モルタルなどで補修します。
 - 2.中性洗剤やクレンザーで洗浄し、水洗いをします。
 - 3.水洗い後、乾いた布で湿気を拭き取ります。
- チェック：磁器質タイルを下地とし磁器質タイルを重ね張りする場合は UR-300Tの硬化が遅れますので事前に確認してください。

【墨出し】

割り付け図面に従い墨出しを行います。

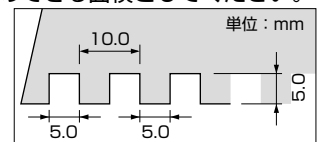
【接着剤の塗布】

- 1.袋から接着剤を絞り出し、コテで下地へ押し付けるように均一に塗布します。

チェック：1回の塗布面積は、張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積としてください。

- 2.接着剤を塗布した後、くし目ゴテを用いて均一にくし目を立てます。

チェック：施工環境によって適切なくし目ゴテを選択してください。



【仕上げ材の張り付け】

- 1.くし目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は、環境により異なります。

- 2.仕上げ材はもみ込むようにして張り、タイル裏面全体に接着剤がなじむように叩き板などで十分に圧着します。

チェック：300mm角より大きな仕上げ材や、2kg/枚以上の仕上げ材を施工する場合には、金物を併用した積み上げ施工等の対策が必要となります。

- 3.仕上げ材が適宜はがし、仕上げ材裏面に接着剤が十分に付着していることを確認します。

UR-300T

チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は、硬化する前にシンナー等を含ませた布で拭きとってください。
・目地直しは、接着剤が硬化する前に行ってください。

【養生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期は1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

- 1.目地詰めを行う前に、仕上げ材のズレや接着剤の硬化不良がないことを確認します。
- 2.目地用ゴムごてを用いて、目地部に目地材が完全に充填されるように塗り込みます

チェック：出入り隅部、建具枠、設備機器との取り合い部にはシーリング材を充填しますので、セメント系目地材を塗り込まないでください。

- 3.仕上げ材表面に残った目地材はゴムごてを用いて拭き取った後、湿したスポンジでよく拭き取ります。
- 4.目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。

【端部の処理】

建具や設備機器との取り合い部には、シーリング材を充填します。

チェック：シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

取り扱い上の注意事項

UR-300Tを使用する前に、下記の項目に注意して下さい。

- 硬化後の接着剤が変色する可能性があるため、目地を詰めないタイルの施工等、接着剤が露出する施工は避けて下さい。
- 石材汚染性の確認はしておりますが、吸水性の高い石材を施工する場合、事前に試験施工等を行い汚染しないことを確認してから施工して下さい。
- 下地が濡れていたり、湿っていると接着剤が発泡しやすくなるため、下地の乾燥が不十分な場合は乾燥させて下さい。
- 製品が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
- 指定用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる製品や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取扱い場所及び作業箇所は換気を行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開けて下さい)
- 可燃性があります。使用時・取扱い場所は火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護メガネや保護手袋などの保護具を着用して下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされすようお願いいたします。

- 一度開封した製品は、できるだけ早く使い切ってください。(数日で硬化します)
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器等には使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)又はカタログをご参照下さい。
- UR-300Tをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イイズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

240601